

井原市立小・中学校のあり方に関する市民アンケート 調査結果

回答数 636件（うち、紙面回答25件）
調査期間 令和8年6月15日～令和8年7月31日
調査方法 インターネット及び紙面により回答

問1. お住まいの地区（小学校区）はどこですか。（1つ選択）

	高屋	大江	稲倉	県主	木之子	荏原	西江原	野上	青野	井原	出部	芳井	美星	全体
回答数	62	20	21	29	30	41	73	9	15	68	98	53	117	636
割合（％）	9.7%	3.1%	3.3%	4.6%	4.7%	6.4%	11.5%	1.4%	2.4%	10.7%	15.4%	8.3%	18.4%	100.0%

問2. あなたの年齢は何歳ですか。（1つ選択）

	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
回答数	21	73	146	179	136	81	636
割合（％）	3.3%	11.5%	23.0%	28.1%	21.4%	12.7%	100.0%

問3. あなたは、小学校の1学年あたりの学級（クラス）数はどの程度が望ましいと思いますか。（1つ選択）

	複式学級	1学級	2学級	3学級	4学級以上	わからない	全体
回答数	9	136	347	91	17	36	636
割合（％）	1.4%	21.4%	54.6%	14.3%	2.7%	5.7%	100.0%

問4. あなたは、小学校の1学級（クラス）あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。（1つ選択）

	10人以下	11人～20人	21人～30人	31人以上	わからない	全体
回答数	7	189	399	35	6	636
割合（％）	1.1%	29.7%	62.7%	5.5%	0.9%	100.0%

問5. あなたは、中学校の1学年あたりの学級（クラス）数はどの程度が望ましいと思いますか。（1つ選択）

	複式学級	1学級	2学級	3学級	4学級以上	わからない	全体
回答数	4	55	226	202	114	35	636
割合（％）	0.6%	8.6%	35.5%	31.8%	17.9%	5.5%	100.0%

問6. あなたは、中学校の1学級（クラス）あたりの人数はどの程度が望ましいと思いますか。（1つ選択）

	10人以下	11人～20人	21人～30人	31人以上	わからない	全体
回答数	4	93	457	72	10	636
割合（％）	0.6%	14.6%	71.9%	11.3%	1.6%	100.0%

問7. あなたは、井原市における一定以上の学校規模を確保するための小・中学校の再編について、どのように思いますか。（1つ選択）

	学校再編を進めるべき	学校どちら再編かと言いたえ方がよい	学校どちら再編かとは言えないが、	学校き再で編は進めたい	わからない	全体
回答数	261	209	108	31	27	636
割合（％）	41.0%	32.9%	17.0%	4.9%	4.2%	100.0%

問８－１．「学校再編を進めるべき」、または「どちらかと言えば、学校再編をした方がよい」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（３つまで選択）

	多様な考えや価値観に触れ、学び合い、大きな集団の中で切磋琢磨し合える環境になる	幅広い人間関係の中で子どもたちの表現力やコミュニケーション能力、協調性、たくましさなどを育成できる	子どもの友達が増え、人間関係が広がる	運動会や合唱などの学校行事等、集団での活動の幅が広がる	学習熟度別学習やグループ学習など、子どもにあった多様な学習形態により学習効果向上する	教育の専門性向上が望める（免許外指導の解消、専門家による外国語教育やICT教育など）	P T A 活動等において、保護者一人あたりの負担が軽減される	少子化のためやむを得ない	その他	全体
回答数	304	346	179	149	73	38	53	139	13	1,294
割合（％）	23.5%	26.7%	13.8%	11.5%	5.6%	2.9%	4.1%	10.7%	1.0%	100.0%

問８－２．「どちらかと言えば、学校再編はしない方がよい」、または「学校再編は進めるべきではない」を選択した理由として、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（３つまで選択）

	子どもたちに教員の目が行き届きにくくなる	家から学校までの距離や通学時間が増える	発表など、個々の活躍の機会が減る	異なる学年との交流の機会が減る	新たな人間関係により子どもの心理的負担が増える	教材・施設や運動場・体育館・特別教室などの施設を余裕をもって使えなくなる	体験的な学習や校外学習を機動的に行いにくくなる	地域の衰退につながる	その他	全体
回答数	42	120	8	4	33	15	14	91	9	336
割合（％）	12.5%	35.7%	2.4%	1.2%	9.8%	4.5%	4.2%	27.1%	2.7%	100.0%

問９．あなたは、学校再編を検討するにあたり、特にどのような点に配慮が必要だと思いますか。（３つまで選択）

	子どもにとっての環境変化への対応（人間関係づくり、心身の負担軽減、いじめの未然防止や不登校の予防）	一人の子どもが複数の再編を経験しないようにする	一定規模の集団が確保できるようにする	通学（時間・距離・方法）と安全確保に関する対応	学校施設・設備の整備・充実	保護者・地域住民への十分な説明と協議	通学区域の弾力的運用	地域の拠点機能の継承（防災、文化・スポーツ活動、地域交流など）	学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策	放課後児童クラブの利用者への配慮	その他	全体
回答数	384	141	163	486	94	159	82	73	98	77	16	1,773
割合（％）	21.7%	8.0%	9.2%	27.4%	5.3%	9.0%	4.6%	4.1%	5.5%	4.3%	0.9%	100.0%

問１０．井原市における小・中学校の再編についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

回答数	218
うち、（どちらかと言えば）進めるべき	140
（どちらかと言えば）進めるべきではない	69
わからない	9

問８－１．「学校再編を進めるべき」、または「どちらかと言えば、学校再編をした方がよい」を選択した理由（その他 １３件）

1	少人数の学校の運営に使っているお金を、学校統合を行うことで、別のものにお金を充てることができるようになり、統合後の学校の設備を整えることができる。
2	中学校部活動
3	経費(予算)の効率化のため。
4	学校にかかる市の財政にも余裕が生まれ、よりよい行政サービスが受けられるのでは？
5	経費を考えるべきだ。児童一人に対する、費用を考えてほしい。市税が使われているのだから。
6	実際問題、教員の数が足りない、児童数に対しての経費が割に合わないというのが現実ではないですか？一番懸念することは、人数が増えて、今でも目が行き届いていない事が多いのに、更に悪い方向へ行くことです。
7	教育財政の観点を無視できないから。
8	良い教育ができるのなら、責任の所在を明確にして積極的に再編すればよい。
9	市内格差の是正のため。
10	今のやり方は、古い。先生の負担が大きい。
11	子供の数が減少している中早く再編すべきだと思う。
12	過疎地域の子供が困る。
13	学校施設の維持管理面のコスト削減のため。教職員数（人件費）の削減が可能。

問８－２．「どちらかと言えば、学校再編はしない方がよい」、または「学校再編を進めるべきではない」を選択した理由（その他 ９件）

1	学校教育の方針で、地域連携を進めている中で、矛盾が生じる。
2	子どもは地域の宝である。
3	住んでいない地域の行事に参加しないといけなくなる。
4	井原市全体で考えると芳井には芳井中学校を美星には美星中学校を残した方がいいと思います。小学校についても同じです。
5	カリキュラムや生活の質の問題であり、規模の適正化という問題では無い。
6	家から学校までの距離や通学時間が増える。
7	地域により治安が悪い。
8	地域に根ざした学習が行えなくなる。地域を知ることや、地域の特産物を知る機会がなくなる。
9	分校になっても続けて欲しい。

問9. 学校再編を検討するにあたり、特に配慮が必要だと思う点（その他 16件）

1	笠岡諸島の "フリー スクール"のような「スタイル」でもいい。
2	検討していない。
3	再編は希望しません。
4	学校再編に対応出来ない子どもが安心して通える学校があるという選択肢。
5	学校再編の必要性は感じますが、住んでいる地域によっては困難な所もあると思います。当事者である子どもや保護者の思いもよく聞いていただきたいと思います。
6	小学校は統合しないで複数学年を1クラスにする。
7	地域の将来への配慮。
8	もし徒歩で帰れない場所の学校になった場合、通学バスや、小学生なら学童への受け入れの緩和等が必要だと思います。
9	再編すべきでない。
10	再編前よりも教育レベルが必ず上がること。
11	意思決定に住民が参加することと、教育内容の充実。
12	3つ以上配慮が必要です。
13	スクールバスを整備するなど。
14	全ての違法行為に対して生徒、児童を守れる環境こそが望みです。
15	再編ありきの検討はいかがなものか、併せて特別支援教育について市教委並びに教員の正しいスキルアップが必要と思われる。
16	学校検診の充実。AED、痙攣、アナフィラキシーなど救急対応の講習会。

○「（どちらかと言えば）学校再編を進めるべき」と回答（140件）

	人数の少ない学校は積極的に統合し、残す学校の環境整備にお金をしっかり使うべきだと考えます。まずすべきこととして、 ・美星・芳井地区の学校の義務教育学校化を行うことによる生徒数の確保 ・青野小、野上小、県主小等の人数の極端に少ない学校の統合（目安：全校30人以下） ・通学区域を変更することによる生徒数の確保（例：下出部町の生徒の進学先を井原中から高屋中にする など） 1 ・統合、廃校などで余剰となった予算を、高屋中等の老朽化した建物の改修、建て替え、机椅子等の環境整備に充てるなどがあると思います。 この街で育つ子どもたちが安心して、楽しく、青春を過ごしていくために、このような環境整備を行うことが何よりも先決です。ぜひ検討していただければと思います。よろしくお願い致します。
2	一定規模の学校に再編することは、子供が多くの学友と多様な意見に触れること。さらに、財源の集約に必要なと思いますが、通学時間や方法について勘案しながら再編していくべきだと思います。
3	再編後は遠方からの通学配慮して欲しい。例えばスクールバスの充実。
4	市民が納得できる結論にしてください。
5	将来を見据え、再編は大規模になっても良い。 芳井町、美星町は別として市内に小学校は、数校。中学校は、1校で良い。
6	再編はスピード感を持ち、そして段階的ではなく大規模に行わないと、少子化が拡大していく中でまた統廃合と成りかねないと思う。
7	子供はすぐに大きくなる。大人が足踏みする時間は無駄。速やかな再編が望ましい。
8	ひとつづくりNWでの取組みが公民館単位で継続出来るような仕組みや人員配置を考えてもらいたい。
9	学校再編は、思い切って旧井原市で小中一貫で1校（仮にIBARA学園）とかに統合して新校舎の建設してはどうでしょうか？各校の電気代とかプール、その他もろもろの維持費を削減できると思います。また、田舎の中でも、多様な集団で学びやコミュニケーションの機会が増えて、地元に残るもよし、都会に出ても臆することなく活躍できる人材を育成できると思います。 教員のマンパワーもここに集約させることで、教員の業務負担軽減、教員の役割専任化を図り、より手厚い教育ができるのではないのでしょうか？ 通学手段については、美星小学校のように、遠方の地域からはスクールバスを運用してほしいです。たとえ近かったとしても通学中の誘拐や連れ去りなど、親の不安要素は少しは払拭されます。また、スクールバスを市内業者に委託することで（日の丸でも西部観光でも）地域企業の活性化にもなります。 せっかくこの議論をしているのなら、ミクロの視点よりも井原市の今後の未来を見据えたマクロな視点で見ていく必要があると思います。 井原市にしかできない井原モデル（市内小中一貫）で子供たちの明るい未来と活躍を後押しできる形を切に願います。
10	再編を一刻も早くしてほしい。20～30年先を考えて協議しないといけないと思う。協議内容をオープンにしてほしい。立場で発言するのではなく 本音で 語ってほしい。検討委員会には、いろいろな考え方の人の意見を聞いてほしい。
11	子育て期間を過ぎた親やこれからの親など立場が違えば意見も違うと思うが、子供の数が少なくなるのは現実で、再編は進めざる負えないと思う。
12	教育者の質の向上を希望します。教師の評価アンケートを実施して貰いたい。
13	地域の意見を聞き再編計画を作成する事。
14	都会と違い、通学には不便となる地域には最新技術を活用したスクールバス等により遠距離通学手段を考慮する大胆な発想も必要かと。
15	子供の学力向上、健全な人間形成には、早く統合すべきだ。地域や保護者の考えばかりを尊重するのではなく、子供のために学校はあるのだから。通学は、バス。

16	井原市は周辺市町と比較して、再編が遅れています。周辺市町村の状況をよく聞き、再編を早くすすめるべきです。
17	少子化による部活動の選択肢が減っていることや保護者のPTA活動や地域活動への参加の負担も増えていると思っています。学校の再編を進めるなかで、地域における子供達が地域で過ごすの意味も合わせて検討がいるのではないかと感じています。
18	再編を進めるべきだと思うが、通学面での安全性がしっかりと確保されるべき。確保されない場合保護者の負担が増えるばかりだ。
19	幼保の再編と合わせて検討すべき。幼保に関して学区を廃止する案があるが、自由学区であっても、やはり進学予定の小中学校再編を見据えた案の提示が重要。 中学校までの子育てに関しては、スッキリした学区の計画を提示しておかないと、子育て世代世帯が家を新築する際に不安になり、他市町に流れていく可能性がある。人口減少に拍車がかかる。 ゆくゆくは、小中一貫校(義務教育学校)に再編されるのを見据えて、先回りして今から前もって計画しておいた方がよい。 芳井、美星、高屋では、小中学校の位置等から義務教育学校(小中一貫校)の計画も先にすすめ、先進モデル地域としての事例をつくっておいた方がよい。 出部小学校区においては、学校との距離を考慮し、一部地域(下出部町一丁目二丁目笹賀町の一部)を高屋小へ、一部地域(七日市町)を井原小へ学区再編した方がよいような気がする。学校の児童数の分散もできる。 また放課後児童クラブの再編と運用のあり方についても、合わせて検討すべき時期かと思われる。
20	少子化の為、やむを得ないとは思いますが、再編することによって、地域の方々にとっては学校で子供たちの元気な声が聞こえてなくなるのが寂しくなるとは思いますけど。
21	将来的に少子化が更に進み、再々編が必要となるなら、初めから市内1校体制とする思い切ったことをしてもよい。再々編の可能性がある限り、井原市への定住人口は増えない。芳井に道の駅という時代遅れのハコモノを建設しようとする余分なお金があるのなら、思い切って市内全域から通わしやすい場所に、最新設備の大きな学校を建設して、スクールバスで市内全域から通わすようにしたほうがよい。
22	少子化は急速に進んでいますが、再編は地域の特性を鑑みて慎重に進めていただきたいと思います。山間部の地域には、交通の便の考慮やその地域にしか無い住民との絆など、一概に平等にはできない課題もあると思われますので、是非、十分な検討を重ねていただきたいと思います。
23	再編により、一定規模の集団が確保でき、井原市の子供も達の教育環境がより良いものになると信じています。
24	井原市にあるすべての小・中学校を一つに統合して、義務教育学校とすべき。または、義務教育学校を井原・芳井・美星に設け、井原市にあるすべての小・中学校を義務教育学校3校に統合し、芳井と美星については将来的に児童生徒数の更なる減少が見込まれるため、井原地域からも通学可とすべき。
25	市政や観光や開発に対して関心を持ってもらえるようもっとPRが必要。人口増につながるアイデアや取り組みを吸い上げ、その延長上に再編を考えていくべき。このアンケートもネットアンケートに抵抗がある人の意見や思いをどのように汲み上げていくのか示して欲しい。
26	小学校は、統合考えた方がよいと思います、生徒と先生の数が変わらないなんて、目がいきとどくのはわかりますが、少人数で学校とは言えないのでは？昔は分校とは言っていましたけど。
27	「子どもたちのこと」は大前提として、人口の多いエリアに統合するという単純なことではなく、将来的な井原市全体のまちのカタチをイメージしながら落とし所を探してください。
28	市民の意見を聞く場をもうけていただき、感謝します。
29	その土地に長く住まれているご高齢の方は寂しく感じられ、反対されることもあるかもしれませんが、実際学校に通うことになる子どもやその保護者の意見が尊重されることを願っています。
30	早く再編してほしい。
31	地域に学校が無くなることは住民にとってとても不安です。 再編されたあとも地域のこどもと住民の交流ができるように、つながりが続くようにしてほしいです。 私も地元に戻ってきて子育てをしましたが、大人になったときにこの地域に貢献したい！この地域で子育てしたいと思ってもらうためにも、愛着が持てるような関わりが必要だと思います。
32	通学距離が遠くなる場合などに配慮して頂きたい。例えばバスの運行を実施していただけると保護者も子供も安心して通学が出来るのではないのでしょうか。
33	複式学級が当たり前になってきている。少しでも早く実施するべきと考えます。

	今後の児童生徒数の減少を考えると、学校再編は必要であると考えます。その際、単なる統廃合ではなく、子どもたちにとってより良い教育環境をつくる視点が重要です。 小学校については、スクールバスの運行を効率的に行える体制づくりも重要な視点ではないかと考えます。 井原・芳井・高屋・出部・大江地区は井原小学校へ、稲倉・門田・木之子・荏原地区は荏原小学校へ、美星・野上・青野・西江原地区は西江原小学校へ集約することで、通学ルートを効率化し、スクールバスの運行本数や負担を抑えながら、安全で安定した通学体制を整えることができると考えます。 また、新しい学校として一体感をつくるため、「井原第一小学校」などの学校名の変更や新しい校歌の作成も検討してはどうかと思います。 中学校については、将来的には井原中学校へ一校化する方向が望ましいと考えます。今後、一学年150人程度になることを考えると、段階的に再編を進め、最終的には30人程度のクラスを5クラス編成できる規模にすることで、より充実した教育環境を整えられると考えます。
34	
35	地域の声を聴く会のニュースを見ました。参加者が高齢者ばかりだったので、この会の意見は反映させないで欲しい。子ども本人と親本人の意見を尊重して勧めてほしい。
36	幼稚園の件を例にとります。保護者さんも、こどもの数が減少している事実はご存知のはずなので再編もやむをえない事は頭ではわかっているはず。それでもあれこれと言いたくなるのは、正解では無く納得解を期待したいのでは？と思います。
37	義務教育学校を一つ作ってみてはどうか？
38	子供たちの人間力を養うには集団の中での切磋琢磨が必要。そして安心安全な環境の整備が今後必須に思う。
39	少子化のため、やむを得ないと思います。
40	地域によってスクールバス等の運用を上手く使い再編して行くのが一番いいと考えます。未来を考えても今後人口が増える気がしませんでした。
41	区域の再編成も考慮して、当事者（子供と保護者）の意見を尊重してほしい。
42	人口が減っている中で子供の数も同様で、子供たちが健やかに成長して生きていくためには他者との関わりや助け合いは必要であり、将来を見すえた再編はよいことだと思います。
43	井原市の人口減少がこれ以上進まないよう、早期の学校再編が必要だと思う。我が子、孫にはある程度の人数の児童生徒がいる学校に通わせたいと思う。個人的には、設備等が充分整った小学校、中学校市内各1、2校でいいと考える。子供の頃に大勢の同世代の人たちとの関わりは大人になってからの人間関係に大きな影響があると思う。また、費用対効果も学校数が少ない方が良いと思う。早期の学校再編を期待しています。
44	子供たちの事を考えるのが一番だと思います。同じくらい、地域の事も考えないといけないと思います。学校がなくなるのは非常にさみしいことなのです。
45	多くの仲間と関わることで、多様な価値観に触れ、協調性が身につき、切磋琢磨することができると思うので早急に再編進めてほしいです。中学生の保護者より
46	少子化で児童、生徒数の著しい減少により、統廃合はやむを得ないと考えますが、小学校等が、地元でなくなる児童、生徒の通学の負担。保護者の送迎等の負担。行事等のボランティアの負担は、地元でなくなるかたが、とても大変と考えます。その辺りもきちんと考え対応策も考えた上での実施を望みます。
47	子どもの頃に色々な人と関わる事は大事だと思う。小学校で、ある程度の人数がいる中でないと、自由に行動できないことがあると超小規模校に子どもを通わせて実感した。先生が目が届く事は良いことでもあるが、目が届き過ぎ自由が制限される。先生の人数が少ないと関わる先生も限られるし、子どもの価値観も偏ってくる。保護者から見て、子どもたちが頑張らせ過ぎているように感じる事も多々あった。 住んでいる地区によって教育や環境の差ができないよう、学校再編が進んでいってほしいと思う。
48	再編は行うべきです。
49	少子化である程度はやむおえないが、拙作に進めるべきではない。
50	保育園・幼稚園の今後の在り方を含めての議論が必要だと思います。
51	過疎化・異常気象はさらに進む、交通・防災・防犯・害獣等々を含めて安全確保に配慮願いたい。

52	13か？この人口で、小学校の数は、明らかに多すぎる。少子化は、女性の男性に対する要求が、極めて高くなったことが、要因のひとつと思う。サッカー代表の選手のように美人妻を連れてという事例はうらやましい限り。幼稚園のときは、学年で100人以上いた。小学校1年のときは、1クラス50人弱で10クラスは、あったと思う。全体で数千人にもなり、校庭から見下ろす海の眺めは、圧巻だった。先日、小学校の先生と話す機会があったが、1年生に対し、「さん」付けて呼んでいた。非常に違和感を持った。大人の言うことを聞かず、無視したり「死ね」「うぜえ」「きも」「はげ」などと言う子に、「さん」付けはないだろう。
53	通学の利便性に配慮すれば子どもはある程度の集団の中で育つ必要があると思います。その中でまた小集団も活用すればいいのでは？
54	近年生産年齢人口の減少により、女性や高齢者労働（定年延長等）の労働参加が進んだことにより、学童保育児童数は増加していると認識しています。学校再編については少子化により必要と考えますが、ますます学童保育の重要性が増すこととなります、再編に伴う生徒・学級数などと同様な対策が必要と考えます。（学校教員は手一杯ならば、学童施設及び地区住民等の参加推進強化が必要では？）
55	アンケートの内容が意図的な感じがして公平性にかけると感じます。 井原市の教育のあり方(何を目指しているのか、子どもたちにどんな大人になって欲しいのか)が不明です。 再編は、大多数の子どもにとってはメリットがあると思いますが、それによってデメリットになる子どももいます。その子どもたちのフォローを具体的にどうしていくのか、きちんとした説明が欲しいです。（現状でさえ、フォロー出来ていません。） 少数の意見も大事にして欲しいです。
56	今や、小学校まわりより沿線上の住宅が増え、子どもの住むエリアに学校が遠いという現状。熱中症や極寒など、通学にも支障がある。なので再編で通いやすい場所になればと願う。
57	再編した場合小・中学校用の通学バスを運用して欲しい。
58	再編する事によって出来た新たな子供たちの人間関係や、学力などについての配慮をきめ細やかにして欲しいです。 そのための人員配置を減らさずに充実させる、子供達が楽しんで授業に取り組めるようなカリキュラムを組んで欲しいです。
59	反対意見もあると思いますが、子どもにとって最適な教育環境を作ってあげるには、小中学校の統廃合を進め、複式学級の解消に努めていただきたいです。
60	再編先の地域は賑やかになるが、小学校がなくなれば過疎化が進み、住んでいる地域住民との関わりもなくなり、愛着が薄れて井原市に定住する人も少なくなるのではないかと心配です。また、子供達は今まで地域の人との関わりを大切に成長してきて見守られているという安心感があったが、これから居住地住民との関わり方を熟慮して欲しいです。
61	再編で子どもや保護者が大変になることもある。再編するなら、必ず職員も減らすべきである。クラスが減るのだから、先生も必ず減るはずだ。経費削減するべきだ。
62	学区の見直しをしてもいいと思います。出部学区は、七日市から「イズミ」辺りまでと学区が広く学校が遠い。
63	地域住民説明会等を開催し、住民の意見を十分に聴いた上で、たたき台を作り、それについて十分に討論した上で計画を策定して欲しい。 先に市の計画ありき、筋書きありきで2から3年だけの計画で進めて頂きたくない。
64	年齢で学年を決めずに、能力のレベルで学年を決めましょう！義務教育の中学生まで！
65	高屋小でぎりぎり二クラスの時に子どもが通ってました。 ずっと一クラスだと人間関係が変わらないので、再編してクラスが増えるならそのほうがいいかなと個人的には思います。
66	通学手段はどのようになるのかが気になります。 また、PTA等の活動や地域との連帯も気になります。
67	少子化による学校再編は仕方のないことだとは思いますが、今後この流れは加速する一方だと思う。学校再編だけでなく、子育て世帯を増やす取組をもっと積極的に行っていただきたい。井原市はよっぽどのことをしないと今後人口増加は見込めないと思う。

	再編はクラス数ではなく、クラスの人数に重点を置くべきでは。 単に人数が少なくなったから再編するというのであれば反対します。 再編により、児童生徒の通学（交通手段）を考慮し、遠方になる児童生徒には通学バス等を充実させてほしい。
68	要は、再編により学校までの距離が遠くなると思うが、これにより親が毎日車で送迎するようなことがないような環境が作れるのであれば再編は賛成です。当然、部活で帰りが遅くなった場合も同様です。 あとは、距離が遠い生徒には寮に入ってもらおうという考えもあるが、小中学生には（食事や生活やお金や体調や安全の面で）ちょっときついかもしれないですね。
69	私は井原地区ですが、井原市にあっては歴史的な事とかにも配慮は必要だと思います。一度無くしてしまふと二度と取り戻せない大事な事への配慮をお願いします。数合わせ的なこと
70	合併するのであれば、スクールバス等で、保護者への負担は減らしてやって欲しい。
71	小学校は地域の拠点なのでできるだけ多く残す。 中学校は井原中学校1校にし、芳井中学は道の駅にして有効活用、他は校地を分譲し校舎の解体費用にしたらよい。
72	生徒数の少ないところなくなり、校舎や設備の古いところからなくなると思う。 再編するにあたりまずは子ども優先で、検討していただきたい。 元々同じ学区の子どもは同じ学校に行けるようにしてほしい。
73	少子化で早くこの様な、議論があるべきで、議会でも最近活発になりました。一般企業では、倒産していますよ。ぬるま湯の対応だと思います。早く前に進め手、良い方向にしてください。
74	子ども達が通学するにあたって辛くないようにしてあげて欲しい。
75	日々の通学に関して、安全確保と、保護者に過度の負担を強いることのないように。学区は柔軟に考えて良いと思う。スクールバスも一案。 部活動の単位や実施方法も、地域のサークルに組み込むなど、学校単位にこだわらなくてもいいのでは。子どもたちが経験できる機会の選択肢があればいいと思う。
76	現場で働く先生たちの意見も聞くべきかと思います。
77	小規模校は児童も教員も少人数で日々頑張っています。大規模校に比べて、手厚い対応を受けることができたり、たくさんの魅力的な行事に参加できたり、とメリットも多いですが、児童間での切磋琢磨することや、同級生と一丸となって取り組む活動することがほぼ無いため、成長の機会を失っている部分もあると思います。多過ぎず、少な過ぎず、適切な人数でのクラス編成・学校編成が出来たらいいと思います。
78	中学校における部活動については地域移行は仕方がない考えるが、指導に当たる方が日々の生活のための収入を得れる形にして欲しい。その業務にあたる方が中学校の先生が当たるのであれば、しっかりと報酬を出してあげてほしい。 学校業務をこなしつつ、生徒の人間性や社会適応性等成長を見ていただくことから特殊な職であると思うからである。 部活の指導や競技が好きという事に甘えて報酬を、対価を支払わない事から教師が負担になってると感じると考えます。 部活はやってもらい、豊かな人間性を育てる機会を充実させてください。
79	再編において、いずれ問題となると思いますが、各学校への防犯カメラの設置は予定されていますか？現状でも、学校周辺に防犯カメラを設置して欲しいと思っています。通学バスで通う、保護者が送迎する、徒歩で通う、どの選択肢になっても防犯カメラは必要だと思います。京都の小学生が行方不明になったことも1つのきっかけですが、対策出来ることは全てやって頂きたいです。共働きが増え、一人で下校する場面も増えるし、不審者や外国人の事件も心配です。学校へは防犯ブザーだけが許可されていますが、規則を作られるのであれば保護者が安心出来るようなシステム、ルールを作って頂きたいです。 防犯カメラが不可能であれば、GPS機能がついた防犯ブザーを必携とするなど、古い規則のままではなく新しいルールも取り入れて頂きたいと思います。
80	規模の小さい(人数の少ない)地域が不利(負担)になる改変にならない事を望む。具体的にはスクールバスの無料運行は必須。学区間だけでなく学区内を出来るだけまなく運行する事で不公平感が和らぐ。過疎に繋がらない、田舎(人数の少ない学区)に住んだ方がいいと思えるくらいの施策になってほしい。
81	小、中統合も可能ではないか。小学校が無理なら。
82	専門家の力をかりるなどして、井原市の学校に行きたいと思える、思われる魅力のある学校づくりが必要と思う。子供が減っているなので、他の市の学校に合格しやすい環境がある。学校の差別化が必要。

83	一定な規模の体制にせざるを得ないと思われる。小規模な学校で、特別な体制（学区外登校）をされているが、統合後に於いても、事情（多人数の学生の中では対応できない生徒等）を加味しての、柔軟な指導体制が必要と思われる。
84	・小学校は、出部、高屋、木之子、西江原、井原を中心とする小学校に再編する。小学校は5校とする。 ・美星、芳井の小学校は中学校と一緒にして、小中一貫学校とする。 ・中学校は、これまでと同じ井原、高屋、木之子とする。
85	本再編議論は、本質的には「国の35人基準を下回る規模を維持するための財政的合意をどう取り付けるか」という問題であるはずだが、市側の提示する論点は「集団規模の大小による教育環境の是非」に終始しており、財政面の議論が隠されている点に強い違和感を覚える。 クラスの規模だけで教育環境の良し悪しは決まらない。一斉教授という古い教育観そのものが問われる現代において、適正規模の議論のみでは不十分である。保護者アンケート（問8-1）が示す「幅広い人間関係」は、クラスの人数を保つこと以外でも実現可能であり、唯一の解ではない。また、問9で最も懸念されている「環境変化への対応」を考えれば、再編そのものが子どもに大きな負担を強いることは明白である。 アンケートから読み取れるのは「再編はやむを得ない」という消去法的な現状容認に過ぎない。これを「市民や保護者が望んだから」という理由付けに使い、行政の責任の所在を曖昧にすることは看過できない。 再編は「やむを得ぬ選択」として進めるほかないが、真に重要なのは再編そのものではなく、大きな環境変化に直面する子どもたちに対して、再編後にどのような具体的ケアと新しい教育環境を提示できるかである。
86	就学前施設の検討時のことを考えると地域への説明会、声を聴く会は必ずしたほうが良い。
87	校長や教頭などには、有能な人材を配置すること。再編前後は要注意。
88	身近な学校がなくなってしまうのは地域住民にとっても、日々の生活の活気がなくなったり、更なる過疎化に繋がるのではないかと心配です。 出来るだけ地元に学校を残す方向で考えた場合、小学校と中学校を合併する選択もあるのでしょうか？
89	遅すぎます。もう流石に動かないといけません。いつも他市町の様子ばかりうかがって、近隣全市町が全てやったら、最後に「ではしようがなく(井原市の責任は無いかなのような転嫁)」再編に動くようでは、市民としてみっともないと感じますよ。
90	少子化が驚くほど早いと感じるので再編はやむを得ない。
91	スピード感を持って、こどもまんなかの視点ですすめて下さい。 自信を持って再編をやり遂げて下さい。
92	大事なものは、対象となるこどもとその保護者の思いだと思う。地域の声を聞けば当然反対となるだろう。 誰のための学校なのか？という本筋から外れてはいけないと思う。地域の声に振り回されないで欲しい。
93	早急に行うべき。少人数学級の解消を1日でも早くすべきである。
94	少子化に歯止めがかからない中、再編はやむを得ないことだと考えている。 しかし、さまざまなことが本格的に決定してしまう前に、登下校の手段や部活動のあり方、PTAの運営方法等について幅広く意見を募り、徹底的な議論をおこなうべきである。 再編に反対する市民に対しても丁寧な説明をしていただきたい。
95	現実を直視し、将来を予測し、進めるべきだと思います。
96	意見ばかり聞くのではなく具体的な策を早く提示して欲しい。
97	特に小学生、中学生、幼保育園児とその親の意見を取り入れてほしいです。
98	小学生が中学生になった時、人数が多いので楽しい！という声を聞く。早く合併してあげたい。
99	再編は少子化などもあり仕方ないと思うのですが、通学で遠くになり登校、下校など危なくない用しっかりとしてほしい。見守りや、細い道は時間によっては通れなくする。又は一方通行など。
100	再編により、徒歩や自転車での通学が難しい地域が出てくる場合は、スクールバス等の検討をお願いしたいと思います。
101	一番重要な事は、子供を持つ保護者の意見や考えを尊重し再編を進めることが望ましいと思います。

102	通学用バスを作って、児童の数を確保する。学校を絞って児童数を増やせば、部活やクラス替えなど行える。 1クラスで何年も過ごすことを回避するべき。人間関係が狭すぎて逃げ場がなさすぎる。このままでは不登校が増えそう。
103	早期に再編を決定して、生徒と保護者が不安とならないようにすべきである。
104	このアンケートが子供たちの未来のためになればいいのですが、専門知識がないため自信が持てませんし、不十分と感じています。ほか井原市と似た地域の取り組みが全国にあると思いますので最善手を取れるよう行政、教育機関で議論を重ね市民に提示頂きたいと思います。
105	美星、芳井は小中一貫校として、地域に残す。
106	少子化で仕方ない事ではあるが 子どもの事を中心に考え進めてほしい。
107	小中学校の再編により統合校ではどこの学校でも同規模となるよう学区を見直し、近い将来に再度の再編が無いよう井原市が先頭に立ち素案を示し議論し、子ども、保護者、地域に説明を尽くして欲しい。幼稚園の再編時のように建物の都合ではなく、人の意見を聞いて欲しい。
108	地域と子どもとの関連を大切にし、地域で子どもを育ててほしいというのなら、これまで地域で構築してきたことが引き継がれるようにしていただきたい。
109	子どもたちの未来のために、かつ自治体の負担を少なく（人口減少に伴う財源の確保等も含め）、大きな改革は大変だと思うが、一時的な目先のことでなく、長期的なことまで含めて検討して欲しい。一度大変なことをした後はきっと後悔ではなく、充実したものに思える結果を残して欲しい。固定概念にとらわれるのではなく、柔軟な対応、弱者の意見、声を挙げられない人のことも踏まえて検討してほしい。 本当により良い住みやすい、井原にしたいのなら、己の私利私欲に忖度させることなく、恒久的な部分も必要ではあるが、住民全体の意識も変化しなければならないと思っています。 声を上げてどうせ届かないだろうと思っている方も少なからずいることも事実だと思います。 正しい、正しくない、そんな結果で言えることではないが、納得のできる説明があるものとして検討結果を残してもらいたい。
110	県主の場合は、急速に少子化が進んでいるので、子どもの為には再編を急いでやりたいです。さみしいですが、、、 送迎は保護者がしなくてもいいように考えてほしいです。 子どもたちや保護者が地域と離れてしまわないようにと願います。
111	学区の変更もあってもよいのではないかと思います。出部小学校学区のなかには、いやいや高屋の方が近くないかい？新築の家建ってるけど、こっから出部小学校までいくの？たいへんだね。井小とどっちが行くの楽かなと、思うことがあるので。井小学区は、空き家、空き地は、道が狭くて車が入らないところが割とあるので、子どもふえなさそうだし。
112	このアンケート、意見を聞くこと、皆様から意見や考えを汲むことが、保護者や一般の方からの、いわゆるクレームやモンスターペアレントを生みやすくなることに繋がることのないよう、切に願います。誰もが良い方向に行くといいですね。
113	小学校の統合で通学距離が遠い場合、スクールバスか自転車通を検討してみてもは。
114	1番は子どものための再編であるべき。そのために保護者、地域は何ができるかを考えることが必要。学校の主役は子どもだということを忘れてはいけないと思います。
115	小中や中高など一貫の学校再編
116	再編をすることによって、校舎などが新しく耐震背にすぐれ、避難場所としても活用できる場所にしてもらいたい。
117	仮に学校が遠くなる場合、バスなどの通学方法も合わせて検討必要と思います。
118	きのこ中学校区は更に少子化が進む、高屋中学校区も同様と考える。井原中学校に統合すると通学が大変なところも発生するので、出部小の一部を高屋中学校に、西江小をきのこ学区に入れ新に小中一貫校を作り3中学校は維持してはどうか。
119	少子化により仕方ないと思うが、将来的に、学校がない地域の人口減少や、進学等で地元を離れた人達が、地元に戻らなくなり、人口減少がとまらなくなるのではないかと思います。
120	アンケートの意味がわからない。少子化は周知されているのだから、いつかは再編するしかない。このアンケートで再編する際のハードルを自ら上げているとしか思えない。少数意見だからと言っても無視は出来ないですよ。
121	大いに結構。学校に子供が多い方が良い。

122	子供が友達と楽しく学校生活を過ごすためには、ある程度人数がいた方がいいと思う。小学校で同級生が5人しかいない子が、中学校や高校でいきなり大人数の中に入ったら萎縮するのでは。新しい友達の作り方を学ぶことも子供の人生には必要なスキルだし、ある程度人数がいないと社会性が身につかない。子供が小学校や中学校を卒業した後の人生を想像し、どのような学校に通うべきか、真剣に考えてくれることを願います。
123	学校の統廃合の話が出ると、必ずと言っていいほど地域の人間は反対する。学校がなくなると地域の衰退がより進むと思いパニックになる。順番が逆だと思う。学校がなくなると地域が衰退するのではなく、子育て世帯に住もうと思われないから地域から活気がなくなり子供の数が減り廃校の話が出る。同級生が数人しかいないのに（複式学級などもってのほか）それでも地域のために学校を残せというのは、エゴでなくてなんなのか。子供の人生に責任を持つのは子供と保護者なのだから、それ以外ははっきり言えば外野だ。意見を取り入れるなら、子供と保護者の意見を優先すべきだ。
124	1日でも早く再編する。（1年経てば子供は1学年上がる） 大人や保護者の都合ではなく子供のための再編であるべきだと思う。
125	居住学区によって学校を選択できるのがこのまじい。
126	何事も多数決がいいとは思わないが、少数派の意見に過剰に忖度して多数派の意見を無視しないようにしてほしい。統廃合はあくまで多数派の意見に沿うようにするべきで、少数派の意見には特例措置をつくるなどして対応してほしい。
127	統廃合は致し方ないと感じるが、子どもたちの通学方法が主な心配。通学バスなどの利用は必須になるのではないかな。
128	親の仕事先によって学校が柔軟に選べると良いと思います。
129	小学校は旧井原市を再編、中学校は変更なしが希望です。
130	さっさと井原中学一つにしたら良い。子供もいないし、どうせいなくなる。スクールバスで通えば良い。高屋だって人がいなくなるし、早めにしとくほうがいい。
131	これから小学校にいく人にとっては、再編するべきと思うが、既に通ってる人からすると再編は抵抗があるように感じる。 通学の問題、いままでの生活スタイルを変えて（今より朝早く起きないといけない、送迎有無など）いかないといけないことに、それを上回るメリットがないと、同意は得られないように思う。 メリットはきっと、再編後子ども達の様子次第で、よかったと親は思えたらいいだろうし、逆もあるので、やってみないと分からないのが現状かと思う。 現実問題再編していかないと、建物維持等かけなくていい費用が発生するので、説明し続けることが大切だと思う。
132	最低でも体育の授業でサッカーが出来る程度の人数は必要だと思います。 集団スポーツから学ぶ事は沢山あるはず。
133	クラスの人数が多くなれば、自分と違う意見考えを持つ人も多くなる。自分の意見を正義として押し通すのてまはなく、それを受け入れれる人間に育って欲しいと思うので、同級生がある程度の人数は必要だと思う。 小学校はできるだけ現状を維持してほしい。 中学校は編成をしたほうが良いと思います。 先生に余裕が出来ると思うので部活動の地域移行は止めた方がよいと思います。 部活動も教育の一貫で色々と学ぶ事があるので先生の教えてほしいのです。 今の子供たちがかわいそうです。
134	説明会では、再編に反対する意見を持った方の参加が多く、再編に概ね賛成の方の参加は少ない現状も加味すべきだと思います。
135	少子化に応じて、ソフト面とハード面で集約を図り、教育の質、量を確保してこれからの社会に柔軟に対応できる、ふるさとに貢献できる人材育成に向けて、今いる大人がビジョンを共有して、何ができるか考える必要があると思います。住んでいる地域に学校がなくなるといった小さな話ではなく、さらに人口減少が進んだ井原市が10年先、20年先という中長期的な視点にたったできることをコツコツと積み重ねた先に、次の世代に何を残せるかというを自覚と責任を大人が持つ必要があると思います。
136	野上に人がいない、子どもがかわいそう。 もっと大勢の中で学ぶほうが良い。地域があーだこーだ言うのは違う。

137	消滅自治体とならないように積極的な対策を行ってほしい。学校の統合をしないのは税金の無駄遣いです。長期的な見通しを立てて、計画的に学校再編や特徴ある魅力的な教育を行って、人口増加や自治体の発展に繋げてほしい。
138	少子化の為、再編は仕方ないかなと思います。 子どもたちにとって何がベストなのか難しいですが、人間力を育てる為にも様々な人と触れ合えるだけの人数がいる中で学ぶ方がいいかなと思います。
139	10年以上先まで複式学級とならないように再編整備計画を考えてほしい。そのためにも、現状の小学校の学区が半分に分かれることも考えないといけないと思います。
140	市内全地域のスクールバス運行を希望します。就学前教育再編整備計画の行政からの説明だと、学区をなくすから一部地域のスクールバスは平等ではない。だからバスをやめて保護者の送迎のみとする、との説明でした。それならどの地域からも乗れて、どの地域の幼・小・中へも行けるスクールバス運行が全てに平等な対応になると思います。経費がかかる事はわかりますが、市内全住民が平等になる対策を、今後の井原市の未来へつなげてほしいです。

○「（どちらかと言えば）学校再編を進めるべきではない」と回答（69件）

1	2月に地域おこし活動で、岡山市北区から移住してきたばかりなので、井原市の学校教育どうこうについてはあまり詳しくないが、井原小学校区の現状を見てみると、近隣の西江原小学校や出部小学校と比べて、児童数が少なく再編の計画がこのまま進めば、井原小学校が廃止となる可能性が高い印象にある。井原市の中心地の井原町に学校を無くすというのは、いかがなものかを感じる。幼稚園の話で言うと、井原幼稚園の廃止を決定づけただけに、井原小学校も廃止にすると決まっているはず。井原小学校を廃止すると決定づけたとして、井原市の中心地が井原町とよく言っている・言われているのに、市の中心地に学校を無くして、学校教育と人口増加の阻害を加速させるとは、井原市としてのプライドも無いのだろう。井原市は、中心地を変えて「出部市」または、他市町と合併して「井笠市」に移行する事も目指してるだろうとも勝手に思っている。井原小学校を廃止にしない案が通るのであれば、逆に児童数が多い出部小学校を廃止して、学区を井原と高屋に分割すべきだ。あるいは、出部小学校区を縮小させて、例えば七日市町、上出部町、笹賀町の一部は、井原小学校区にするといった方法、井原、出部、西江原小学校を廃止かつ、井原町に集中させて「井原市井原中央小学校」を設置するという考えがあっても良いと思う。提案したからには、何かやれやと井原市役所と井原市教育委員会が思うなら、最大限やってやろうと思っている。
2	幼稚園再編のように上の者だけで決めることのないよう、地域や保護者の声をしっかりととりいれてください。
3	複式学級だけは避けてあげて欲しい。
4	大小に関わらず、その学校の良さを大切にして、特色ある教育がされる学校であって欲しい。そうした上で、学区をなくして子供や親の選択で学校を選ぶようなことができたらと考えます。また、地域の大切な施設であり、学校がなくなることは、その地域にとって一大事なので、学校再編が地域衰退に繋がらないよう十分な説明をして理解の上で行なっていただきたいです。
5	大人の目線でなく、子供たちそしてその親の気持ちを大切にして考えて欲しい。
6	地区の過疎化と生徒の通学に保護者や生徒に負担の少ない方法の検討をお願い致します。100円バスなどの有効利用など。
7	子供達が安心安全の環境の中教育ができる体制。
8	合併した場合、校舎や体育館、運動場や地域の繋がりを維持する目的で、運動会や校外活動を交互に利用するのはどうか。
9	・井原市としての「教育環境」を充実させる。 ・井原市の『教育委員会』が"単独"でアンケート調査をしない。 ・市の各『部局』（市民病院も含む）の"課長クラス"からも意見を集める。
10	地域の学校が無くなるのは寂しいし 地域との交流も無くなってしまう。遠くなると親も子供も負担が増える。子供の数は少ないが再編はしないで欲しい。
11	子どもの意見を一番大切に考えてほしいです。
12	学校の再編成、統廃合の視点だけでなく、特別支援教育の視点ももって頂きたいと思う。例えば、空き教室があるからこそ、特別支援学校の機能も備え、同じ校舎の中でそこに通う全ての子どもたちが隔たりなく行き来できる環境で過ごすことができるようになると良いと思う。 また、地域で子育てしたいと思える環境（井原市に住みたいと思える魅力）を、市全体で取り組んでほしい。荒地の有効活用も。 今の段階で、学校の再編成は避けられないのかもしれないが、遠くから通うことになる子どもたちや家族が負担を感じないよう、通学の方法、心身のフォローをぜひともお願いしたい。
13	美星はスクールバスの利用があるので通学できるが、それがなくなれば親や家族の負担も増える。また、美星の幼稚園もスクールバス利用で小学校にあがるまでの準備で乗車しているが、平等ではないと言われてスクールバスが利用できなくなるのはおかしいと思う。地域それぞれに違いがあるので、井原市内の小学校、中学校、幼稚園と同じように考えないで欲しい
14	小学校区の編成をした場合、学区関係なく中学校選べるのか。
15	子供たちが行きたい学校を自由に選べるようになると面白いのでは！？
16	少子化対策が先決。再編は最後。

17	井原市は範囲も広く、高低差もあり、車でないと移動しにくい環境の地域もあると思います。なので、再編すると難しい地区も出てくると思います。なので、できるだけ地域に小学校、中学校はある方が望ましいと思います。ただ、人数が少なくなるとできる体験が制限されることもあるので、難しいなと感じます。生徒数が少ないから教員の数が少なく配置できなくなるのも困ります。特に中学校では女子と男子は体育など、体力的にも違うので、男性女性両方の教師を派遣してもらうことで、その年齢にあった授業ができるので。 予算や人が限られているのも理解できるのですが、地方だからこそその小さな地域に根付いた学校教育ができるのありがたいと思います。
18	何のための再編なのか？ 子供達のために一人でもその地域にいれば残すべきと考えます。
19	子供と保護者が地元に関われるように、また地域の人に関われるようにしてほしい。再編によって車で行くぐらい離れた地域の学校に行くとなった場合、その地域の行事に参加させられるのは違うと思う。生徒数が少なくても自分の地域と関われることが重要。
20	中学の部活がどんどん縮小してますが、きちんと地域移行できる準備をしてからにして下さい。地域チームがないスポーツもあるのに、強引に縮小してますよね？部活がやりたい子ども達が可哀想です。
21	子供が少なくなり地域との繋がりが少なくなっているが、学校再編により他の地域に行ってしまうと、余計に子供達と触れ合う機会が無くなると思います。 再編やむ無しで進むのであれば地域の方と触れ合う学習を取り入れて頂きたいです。
22	再編は進めるべきではないと思う。 小・中学校がある地域は活性化し、ない地域は衰退していくと思うから。 地域格差が顕著にあらわれそう。
23	人数の少ない学校であっても、その地域の良さはあると思う。 人数が多ければいいものでもないし、なにより子供たちのためになるとは思えない。
23	登下校の負担。 保護者の負担。 子供の心身的な不安。 全中学校、全校生徒に自転車の通学を?? 荷物の重さ??
24	幼稚園も再編、小・中学校も再編… そんなに急いで再編することなのでしょうか？
25	少子化によって、学校の編成が再考されるのは仕方ないことだと思う。 一方で、学区が急に広がることで子どもと地域のつながりが薄れてしまうのではないかという懸念や自力通学が難しい児童生徒が生まれるのではないかという不安がある。 特に自力通学が難しい児童生徒に対し、市はどのような支援を考えているのか明確に示してほしい。
26	安全に通学ができることが第一です。井原の中心部に合併となれば、芳井は遠いので、バスやタクシーなど通学手段を確保していただきたいです。
27	人口衰退地区における学校再編は、ますます若い世代の地域離れにつながりかねない。 再編という手段を行い出したら、人口の増える見込みのない市町村は、何度も再編を繰り返すことになります。 1学級の存続が無理な地域においては仕方がないとも思いますが、若い世代が井原市で子供を産んで育てていきたいと思える町づくりを、平行した市政を行っていかないと未来は無いと思います。 人がいないと市として成り立たなくなるのは、火を見るより明らかです。 未婚の子供が大阪にいますが、井原市に帰ってきたらと親が言える町づくりを優先して行ってください。

28	通学のことがあるので今の学区のままだが良いです。
29	小学生は少人数制でいいと思う。 中学生になるといじめ等が気になるので2クラスあるとクラス替えがあるので、いいかと思う。
30	将来的に井原市全体で何校かにするとなった場合、遠く離れた学校へ通うのに、保護者負担ではなく、通学バスは運用されるのでしょうか。統合などする前に、ほぼ決まってから保護者や地域への説明会を開くのではなくて、時間をかけて協議してほしいと思います。
31	美星地域では昭和47年からスクールバス通学で現在に至っています。現状のままで継続してほしい。地域性を考えての教育行政をお願いします。地域の方々も「継続は力なり」。保護者の方々は利用を切に願っておられます。暑さ対策や事故等、学校だけでは難しいのではないのでしょうか。子どもたちが安全に登下校し活動できる環境づくりの中でのスクールバスの必要性！
32	地域の学校がなくなることのデメリットを十分に考え、経済(予算)中心ではなく子ども中心に想定される状況を、住民や保護者の意見を十分に聞き納得のいくように進めていってもらいたい。経済より子どもを育てることの方が大事ですから。小さい学校には大きな学校にないメリットがあります。
33	就学前教育再編整備計画がスムーズに進んでいないという現状がある。説明会等に参加してみると、各地域住民や保護者からは、少人数の良さや、学区に公立学校園があることへのメリットを感じられているように思った。今後、ますます少子化が進んでいくことも現実的には考えられるが、統廃合ありき、ではなく、市をあげてもっと前向きな話をしていくことが大切ではないかと思う。移住者の受け入れ体制を整える、企業誘致を進める、新規事業者を応援する、公立学校園の魅力発信に力を入れる、市をあげてアピールしていく、など。また、小規模学校園の良さを逆に井原市の売りにするなど、考え方自体を変えてみるのもいいかと思います。人数が多ければ多いほどよい教育が受けられるとは思っていません。実際に、美星中学校の保護者ですが、少人数の良さを活かした教育をしてくださっており、子どもたち一人一人が自己発揮しやすい環境だと感じています。美星プロジェクト企画発表会に参加し、ますます感じました。自分が住んでいる地域を愛し、盛り上げようという気持ちが伝わってきて嬉しく思いました。井原市の子ども達、また地域にとって、最善の方法を、いろいろな人のアイデアを取り入れながら話をしていていただきたいです。前向きな検討をよろしくをお願いします。
34	再編を考える前にやることあるはず。何故人口が減ったか、何故若者が減ったか。井原に産業を誘致しない、もっと魅力ある施設場所を作らない。矢掛はよくやっている。井原はよそから来ても紹介する場所がない。食べる所もない。これじゃ若者は出ていく。やる気が有るのかと思う。井原には素晴らしいサッポロビールとの繋がりが有る。ビール園を造れば人は集まる。併設でオートキャンプ場作れば全国から人は集まるはず。
35	通学時間と通学距離、それか子供たちの負担になるし、変な事案が増えると予想されます。
36	子供減少により再編を考えなければいけないのかもしれませんが、井原市の子供たちが他市の学校に行かないよう、成人になって帰り、井原の企業に勤められるよう、井原市の未来も考え、もっと検討を積み重ねていただきたい。ただ数だけで決めていくといけないのではないのでしょうか？
37	小学校は登下校を考慮して下さい。
38	今以上の通学に時間がかかる場合には再編するべきではない。子供、保護者 家庭に負担がかからない前提でしっかり考えてもらいたい。
39	学校がなくなった地域は必ず廃れる。過去や他の事例からも明らか。自然に児童生徒数がいなくなり、廃校となる場合以外は作為的に地域の衰退を進めることになる。金を見て地域を見ない方針と言えないか？
40	運営の難しさもあると思うので有識者がよく話し合われて決められたら良いと思う。
41	今の子供達そしてこれからの子供達の為に考えて下さい。 教育長、市長の考えは要らない。
42	子どものことを1番に考えて下さい。
43	特に小学校の再編は、身体的にも精神的にも幼い児童への負担になり、また地域の過疎化や少子化に拍車をかけることになる。再編ありきではなく、可能な限り存続する方向で叡智を結集して模索すべき。
44	小学1年生でも安全に歩いて通える距離、2km以内を保って欲しい。
45	芳井町には小学校1校は必要です。中学校は再編しとも良いと思います。
46	1学級あたり的人数が少なくても予算を付けるよう、国から補助金をもらうなど、工夫が必要。美星、芳井 はそのままだが良い。中学校と小学校の再編は、論点ごとに分けて議論すべきです。幼稚園保育園と小中学校を分けたのと同じです。

47	理想は2クラスと答えても、地域の小、中に通えるなら少ない人数やクラスでもいいと、そちらを優先する人もいるかと思います。このアンケートではその部分が加味されるか不安があります。ニュースで報道され閉校する学校を見ていまして、全児童数が数名になったらです。さほど少くない学校まで先の未来を見据えて統合するのはやめていただきたいと思います。井原市の人口や郷土や文化は地域なくして成り立ちません。可能な限り地域を大事にしていきたいと思います。
48	学力については教師の目が届きやすいので少人数が良いのは明らかである。塾や予備校でもそれを売りにしているし、学校でも少人数指導をしている。人間関係の構築については人数はあまり関係無いし、学校や学級経営に影響されると思う。1学級の人数や1学年の学級数の基準について文科省が述べているが根拠が必ずしも正しいとは言えないと思う。統廃合は地域の衰退に繋がるのでできるだけすべきでないと思う。
49	子供達が少ないなら幼、小、中一貫校にしたらどうかと思う。
50	中学生の制服がみんな同じになる時に、再編の話が市民にありましたか？まわりから固めている感じがどうなのかと思います。
51	再編は計画時点で保護者や地域住民との意見交換の場を設けて欲しい。そこで出た意見と向き合い、慎重に計画を進めて欲しい。
52	今の学校の現状をどこまで理解されているのかよくわかりませんが、外国人の子供のサポートを担当、支援員の先生方はとても頑張られています。異文化の中で子供たちも頑張っていますが、学力の向上はもちろん、語学上でもとても大変です。 井原市も外国人労働者は多く、その子供も増えていると感じます。日本語がよく理解できない子供も同じ環境の中で勉強したり遊んだりしていることは、井原の子供たちにとってもかけがえのない体験です。 再編で1校につき、それなりの人数も確保できるのでないかと期待しています。 井原市としてこれを機に、外国人の子供の通級や支援できる体制を整えて欲しいと思います。
53	経済の論理ではなく教育の論理をして考えてもらいたい。また、行政の都合ではなく子どもと家族のために施策を考えてもらいたい。
54	小規模ならではの良さがある。個々が大切にされるようにして欲しい。 住民に向けて、何度か説明会を開いて欲しい。
55	幼・保育施設の説明会でも理解されたと思いますが、事前に保護者・地域住民にしっかりとした説明が必要です。これまで市はそういうふう施策を進めてきたのかもかもしれませんが、これからは時代も変わっていますし、他の市町村などの前例もたくさんありますので、参考にしたほうが良いです。また、もし進めるのであれば将来のイメージをもっと明確に資料にして説明するべきです。この度の幼保育施設再編の説明会でも感じましたが、再編後は保護者に投げつけるだけで将来展望ができていないし、とりあえず再編したらいいやみたいにしかなえられず、ただただ残念としかいいようがないです。反対意見を全て消化することはできないと思いますが、まずはそういう意見も聞いて、考えましたという姿勢が大事だと思います。 データや統計も大切ですが、それだけで会議して判断せず現場もきちんと見て、子どもたちがどんなふうに成長できているのか、井原市が私立にばかり頼るのではなく、公立だって盛り上げる姿勢を見せて欲しいです。 あとついでに子どもたちが遊べる場所を奪うばかりではなく作ってください。複合施設の条例があるから作れないのではなくて、その条例自体を見直す姿勢をみせるとかさまざまなアプローチをして井原市はこんなに頑張ってますとアピールして市民の数が減るのを待つのではなく、増やすような良いイメージを持てるように施策を進めて欲しいです。
56	通学が大変になるのであまり再編してほしくありませんが、ある程度の人数の集団ではあったほうが良いと思うので何を取るかが難しい。子どもが増えるように「住みたい！」と思えるまちづくりをしてほしい。ショッピングモールやちょっとお茶が飲めるようなカフェ（チェーン店でもいいから）がもっとあれば若者も住みたい、住みづけたいと思えると思う。
57	地域と学校とのつながりを考えるうえで、一学年一学級の維持が可能であれば、地域の子どもは地域の学校へ行くことが望ましいと考えます。また、部活動の地域移行が進んでいくなか部活動に関しては出来るだけ学校内で教員または講師の立場の人が学校の責任において指導することが望ましいと考えます。そのなかで、指導者不足であれば地域の指導者をお願いしていけばよいのでは。学校は地域の中核でありたい。

	過疎化が進む中、学校もないような地域では、益々人が住まなくなる。過疎化が、促進される恐れがある。 それぞれの地域で、地域住民のつながりができている中で、小学校がなくなると、つながりがうすれる。誰々さんのところの孫とか、誰々君のじいちゃんとかいう、地域みんなで大切に子どもを育て、お年寄りを見守ることが、できにくくなると考えられる。小学校を中心に、できあがっている地域のコミュニティが、くずれるおそれがある。
58	児童数が少ないと、一人一人に目がいき届き、一人一人の個性を伸ばす、充実した教育ができる。少人数のメリットより、デメリットのほうが大きいと、冒頭書いているが、そういう論理的な根拠は、どこにあるのでしょうか。財政面での負担は、わかるが、今こそ教育にお金をかけるべき。 また、今後益々大規模災害が起こる恐れがあるが、学校は、避難場所として、大切な場所となる。校舎や運動場など、先生方や子どもたちが、日々生活しているから維持管理ができている。いなくなると、あっという間に崩れていく恐れがある。 以上の理由で、学校再編には、大反対！！
59	通学時間(距離)、子供・親の負担が多くなる。 地域性の配慮が見当たらない。 メリットよりデメリットの方が大きい。
60	遠距離通学による親の負担が増えます。公共交通などの利用は事故などのリスクが増えると思います。 子どもの精神面への配慮を明確にしてほしいです。学校設備は万全なのですか？児童クラブはどうする予定ですか？それらが全てクリアしてからだと思います。
61	井原市として子育て環境を十分配慮されているのか？ 配慮されているのであれば、なぜ再編の方向に舵をとるのか、説明いただきたい。 国政や県政のためなのか、市政によるものなのかを、掘り下げて市民に説明すべきです。 そして井原市の過疎化が進む原因を市民に説明してください。
62	子どもたちのためにも地域のためにも、できれば学校再編はしないで同じ学校で卒業したい。教育委員会は子どもたち、保護者の意見をしっかり聞いて欲しい。
63	通学時間の差が大きくなる地域への配慮がほしい。
64	子は地域の宝。 学校再編より学校や公園に遊具がなく子どもが外で遊ぶ機会が極端に少なくなっている原因を何とかしてほしい。 小さなこどもや小学生が遊ぶ場所が何もない広場しかないのは子育て世帯にとって魅力が全く無い。
65	通いたい学校を、市内から自由に選べるようにする。
66	先日の幼稚園の統廃合のように市の計画ありきで物事を進めるのではなく、先に地域住民との意見交換会を行い、ある程度地域住民の心情に沿ったかたちで計画を立ててほしい。
67	できれば再編は望まないが、どうしても必要性があるならばしないといけないと考えます。
68	市民(保護者、子どもたち、地域の方々、先生方など全ての人々)に必要性やどう進めていくかなど細やかな説明が欲しい。周知される努力をして欲しい。市民の意見をしっかり聞いて欲しい。
69	出来るだけ現状を希望する。

○「わからない」と回答（9件）

1	子どもたち、保護者、地域住民、先生たち、教育委員会、行政みんなでしっかりと話し合ってから決めてほしい。
2	中学生でもスクールバス利用できたらいい。
3	閉校になってしまう学校を卒業した子どもたちや人々の寂しいも寄り添いつつ、人口増加や未来へつながる編成にして欲しい。
4	祖父から（もっと上の代から）同じ学校に通い続けているのはとても素晴らしいことだと思います。家で父や祖父たちと同じ校歌を歌っているのをとても微笑ましく見てました。 それがなくなるのはとても寂しいと思いますが、我が子通っていた頃よりもはるかに人数は少なくなっているので、仕方ないのかなぁとも思ったり。 なくなるであろう学校の元保護者としては、なんとも言えない気持ちです。
5	一番気になるのは、登下校についてです。保護者の負担が増えるのでしょうか？ 特に小学生は、徒歩で通えない距離の場合、どうなるのでしょうか？ そして、どれくらいの規模の合併が行われるのでしょうか？
6	決めてから説明をするのではなく、説明してから地域の意見もききながら決めていって欲しいです。 説明があってから、再編するまでの期間が短すぎるのではないのでしょうか。
7	中心部集中型の人集めを避けていただければ、と思います。
8	アンケート内容が雑と思われる。そもそもなぜ小中の再編が必要なのかの説明が足りない。まず、再編を考える際にどうして一学年の学級数について尋ねる必要があるのか疑問である。4学級以上が良いとしても一学年の人数が少なくなれば必然的に学級数が増えることはあり得ない。また望ましいークラスの人数も国の基準に関係なく井原市が市民アンケートや児童生徒、保護者アンケートに沿って対応しようと考えているのならまだしも、クラスの規模を確保したいという理由付けだけが背景にあるように思える。小中学校の再編も幼稚園再編時の検討と同様に着地点がすでにあり、このアンケート自体も一プロセスに過ぎないのではないかと勘ぐってしまう。幼稚園再編については過去の教育審議会にて統廃合は行わない、行う場合は小学校の学区制と併せて検討するとなっていたが、その当時の答申も今回、突然降ってわいたような幼稚園の再編検討では全く参考にされず、説明も何もない。結果、幼稚園の再編については大きく紆余曲折しブレた結果となった。幼稚園や小学校、中学校の再編については子どもたちのためだけでなく、地域のコミュニティーの拠点としての意味合いも大きい。そうした観点から数年かけた丁寧な対応が必須であると考え。子どもの人数が減っていることから再編統廃合は既定路線だと思われる。ただし、今のよう雑なやり方は反感を招くだけで全く説得力がない。このアンケートの期間が延長されたのも想定していた数が収集できなかったからではないか。そう考えるとそもそも小中再編についての対応が丁寧ではなく、市民に関心を持たせることができなかったからではないかと思われる。これらのことを真摯に受け止め、今後は丁寧な対応を検討していただきたい。
9	地域の子供たちを守るための、小児医療体制は、まだまだ改善の余地があるように思われます。将来大人になって、社会の中で自分の能力を十分に発揮し、人々に貢献できるように、子供たちの健康をしっかり守る体制を、教育と医療、その他の関係機関との連携によって構築したいと考えています。学校再編の機会に、井原市が子供の将来を守っていくための、小児医療体制を確保した町として成るように、医療機関と十分な意見交換をすることを、考えていただきたいと思います。（医療従事者）